

聖霊降臨節第9週 主日礼拝

2018年7月15日 第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ミカ書』6章6-8節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌18「 ^{みかみ} おお御神をほめまつれ」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌190「 ^{しず} 静けき祈りの」	—	同
聖書朗読	『マタイの福音書』5章1-12節(新約6頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「私たちは幸いである」	辺土名誠治伝道師
※応答の賛美	新聖歌176「イエスは ^{なれ} 汝を呼び給う」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	横堀 正美兄	
諸報告	(来信・集会案内・来会者紹介・報告・暗唱聖句)	司会者
※頌栄の賛美	新聖歌62「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	辺土名誠治伝道師
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近 伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	(第一礼拝の聖書箇所) 『ヨハネの福音書』21章1-14節
司集	会：片山 浩司兄 会：長谷川睦子姉 横堀 信子姉	音響・録音：山崎 敬典兄 説教の録画：片山 勝三兄	C S 担当：佐藤 繁実兄 ※掃除当番は右表参照

個人、団体からの来信

2018年7月15日

「山形からの恵み」Vol.15／新潟福音放送協力会より、会計報告／
東北地区KGKより「協力会NEWS」第147号他／
「2018 新潟 平和夕拝」案内[8月12日(日)午後7-9時 新潟福音教会にて]

先週の集会出席者数

7/8(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性1
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、実用書道教室を開催
※夜の公開講演参加	第二礼拝(子ども)	男12 女18 男児2 女児5	7/9(月) 月曜家庭集会 男1 女4 7/11(水) 新潟山形僚禱会 男6 女6
		男1 女2	7/12(木) しゃべり場タビタは一日繰り上げ 男- 女3 7/13(金) 金曜祈禱会 男1 女3

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
7/16(月・祝)	月曜家庭集会	(休会)	
7/18(水)午後7:30	救 禱 会	教会堂	司会：片山 初子姉
7/20(金)午後	しゃべり場タビタ	教会	問合せ先：長谷川睦子姉
7/20(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

7/22(日) 聖霊降臨節第10週

第一礼拝 午前8:00	司会：近 伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：近 伸之牧師		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 健司兄 集会：横堀 信子姉 渡邊 智子姉	映像・音響：片山 勝三兄 説教の録画：近 伸之牧師	感謝祈禱：伊東 一馬兄 ※掃除当番は下表参照
掃除当番順	7/ 1[笹川 清子姉] 7/22[渡邊 智子姉]	7/ 8[長谷川睦子姉] 7/29[猪爪 和美姉]	7/15[横堀 信子姉]
主日の予定	合唱自主練習 話し合いなど	午後1:30 午後2:30	
夕拝 午後7:30	司会：近 伸之牧師 説教		

近牧師の予定

本日午後1:30より新潟福音キリスト教会で持たれる教会奉仕者セミナーに参加。
明日16日(月・祝)午後から持たれる村上福音キリスト教会の献堂式に片山健司兄と共に出席。
17日(火)午後2:00より五十嵐キリスト教会にて新潟福音放送協力会の県委員会に出席。

先週の暗唱聖句

「あなたがたは世の光です」(『マタイの福音書』5章14節)

今週の暗唱聖句

「自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」(『マタイの福音書』5章44節)

説教者のサイン ()

報 告

1. 礼拝の感謝と本日の予定

本日は山の下福音教会において近牧師が聖餐礼拝を執り行っており、当教会では辺土名誠治伝道師が説教奉仕をしてくださいました。交わりの中で感謝を表しましょう。また、午後2:00よりカナン訪問を行います。

2. 青年会主催、夏の1-dayセミナーについて

かねてより案内しておりましたとおり、今週21日(土)に新潟福音教会において宣教区青年会主催のセミナーが持たれます。参加を希望される方は、本日中に牧師家へ声をおかけください。

3. 先週の来会者

7月8日(日)の第二礼拝に、河野裕夏さん(敬和高3年)が出席されました。感謝します。

「あの人は目の付け所が違う」などと私たちはよく言います。聖書もこの目のつけどころについて、「目を上げて高きを見よ」(文語訳イザヤ40・26)などというふうに言っています。これはいったい、どういう意味なのでしょう。

「目を上げて高きを見よ」というのですから、まず低次元のものから目を離さなければ「高き」を見ることはできません。コロサイ人への手紙には「地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい」とあり、心を引かれるべきではない地上のものとして、「地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲……むさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです」と具体的に挙げています。私たちは心の引かれるところに、自然に目はいくものようです。ですから私たちの目が、どこに向けられているかが問題です。私たちは、時には人ばかり気になって、良きにつけ悪しきにつけ、人を気にし、その結果、優越感にひたったり、劣等感にさいなまれたり、ということがあります。そういう私たちに対して、聖書は「目を上げて高きを見よ」と勧めているのです。では、目を上げて高きを見たら何が見えるのでしょうか。

イザヤ書には、「目を高く上げて、だれがこれらを創造したかを見よ」と記されています。現代の天文学をもってしてもなお、星の数さえきわめることはできないという大宇宙、そして万物を創造し、なおかつこれを支配したもう一方は誰かを知

りなさい、ということです。私たちがこの創造主なるお方を仰ぐとき、人間のうぬぼれは吹き飛び、同時に、打ちひしがれている弱さからも解放されるのです。

創世記の中に出て来るアブラハムが、神の命令に従って独り子のイサクを祭壇にささげようとした話は有名です。彼が本気でわが子をほふるうとしていることを見届けた神は、彼をとどめました。この時、「アブラハムが目を上げてみると」、なんと、ほふるべき身代わりの雄羊が備えられているのが見えたというのです。

あなたも、「目を上げて見る」なら、あなたの罪の刑罰の身代わりとしてほふられてくださった小羊なるキリストを見ることができると思うのです。もはや、自分ひとりで悩み、苦しむ必要はなく、罪のゆるしはすでに、あのカルバリー山の山に備えられている、問題はすべて解決済みなのだ、ということが、目を上げて見るなら、きっと見えるはずなのです。この「目を上げて見る」と神様のみわざを、神様の備えを、すなわち、神様が働いてくださっている摂理を見ることができた、という例は、聖書の至るところにあります。目を上げて見る、すなわち、発想を神によってまったく新しく切り替えてみることは、必ずやあなたの人生の祝福となることでしょう。

一面に咲き向日葵は個々の花 (片山由美子)

一つとしてまったく同じ花はない。人も教会もまたそうかもしれない。



2018年度教会目標 **「弟子の覚悟をもって」**

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/21(土)三浦綾子記念文学館開館20周年
「三浦夫妻の宝物(2)」メッセージ:安海靖郎

『氷点』『塩狩峠』などで知られる作家・三浦綾子さんの人生と文学を展示している三浦綾子記念文学館(北海道旭川市)を2週にわたって紹介します。学芸員・長友あゆみさん(写真左)と事務局長・難波真実さん(右)にお話を伺います。



Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、ライフライン
の協力教会です。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

